

小片野新田遺跡（おがたのしんでんいせき）第2次調査

現地調査が終了しました！

先日、無事に現地での発掘調査が終了しました。

現地説明会の後、5区、6区の調査を進めました。その結果、鎌倉時代から江戸時代にかけての掘立柱建物や溝、土坑どこうが見つかりました。土坑はこれまでの調査で見つかったものと同様、江戸時代の土採り穴どとと見られるものが多数を占めていました。そのなかで5区の中央やや東寄りで見つかった室町時代の土坑（写真1下部、写真2・3）は、40～50センチ大の河原石かわらいしを積んでいた様子うかがえました。床の一部は熱を受けて赤く固まっていた。この土坑からは土師器鍋・皿などが見つかりました。



写真1 5区調査区西半部全景



写真2 土坑を掘り下げています



写真3 土坑の掘削が完了しました